

## 第五学年〇組 家庭科学習指導案

**題 材** 整理・整とんで快適に

**指導観**

- 本学級の子供たちは、これまでに、物の大切さについて学級活動の時間や道徳の時間を通して学習し、自分の物を長く大切に使用したり、環境のことも考慮して商品を購入したりすることが大切であることを理解してきている。さらに、学校内において整理・整頓をすることで快適に生活することができることや整理・整頓をすることが安全に過ごすことにつながるということに気付いている。しかし、全員が身の回りの物を率先して整理・整頓し、みんなが快適に過ごすことができるまでには至っていない。そこで、身の回りの物について自分で管理することができるようになるこの期に本題材を取り上げる。そして、快適に生活を送るための整理・整頓について捉え、身の回りにある物の整理・整頓を率先して行うことができるようにする。このことは、よりよい家庭生活を目指して、自分にできることを積極的に行い、家庭生活に進んで参画しようとする家庭生活を豊かにする子供を育てる上からも意義深い。
- 本題材は、整理・整頓を行うことは、快適で安全に生活を送るために大切なことであるということや物を無駄なく使いきること、資源として使った物を再利用することがごみを減らし環境への負担を減らすということを理解し、自分の身の回りにある物を環境に配慮しながら適切に整理・整頓することができるようにする。このことは、本学級の子供たちにとって快適で安全な生活を送る上で必要な整理・整頓の仕方を理解し、様々な視点から整理・整頓の仕方を工夫し、実践を行っていくのに適した題材である。
- 本題材の指導に当たっては、家庭や学校において、適切に整理・整頓を行うことができるようにする。特に本時指導に当たっては、まず、導入段階では、前時学習した整理・整頓のよさと、整理・整頓が必要な場面を比較し、整理・整頓の仕方について調べていくというめあてについて話し合うことができるようにする。次に、展開段階では、実践した整理・整頓の仕方を交流し、整理・整頓の意味と方法について理解することができるようにする。最後に、終末段階では、本時学習を振り返り、次時学習への見通しをもつことができるようにする。

**目標**

- 1 整理・整頓をすることは、自分の持ち物をすぐに探すことができたり、安全に生活をしたりすることができ、快適な生活につながるということを理解し、自分の身の回りの物の整理・整頓を実践することができるようにする。
- 2 自らの家庭生活を見つめ直し問題を見付け、自分の片付けに関する課題を設定し、その解決方法について話し合い、健康・快適・安全の視点を基にして実践を考えたり、最適な実践について判断したりできるようにする。
- 3 身の回りの物の整理・整頓について関心をもち、意欲的に快適な住まい方について考え、よりよい整理・整頓の仕方について調べ、家族の一員として快適な暮らしを送るための実践を自ら行っていこうとする態度を育てる。

**計画** (4時間)







- 1 自分の生活経験と生活事象モデルを比較させ、課題をもたせる。————— 1
- 2 身近な物の整理・整頓を行わせ、整理・整頓の仕方を捉えさせる。————— 2 + 課外  
(1) 整理・整頓について…………… ①本時 (2) 物の使い方について…………… ①  
(3) 家庭での整理・整頓について…………… 課外
- 3 物の使い方について調べさせ、学習をまとめさせる。————— 1

**本時** 令和6年6月14日(金曜日) 第5校時 家庭科室において

- 主眼** 1 整理・整頓をするときは、必要な物だけを残して、残した物を同じ種類でまとめたり、よく使う物を手前に置いたり、区切ったりするとよいことが分かり、学校の引き出しの中を整理・整頓することができるようにする。
- 2 引き出しの整理・整頓の仕方を調べる場面において、引き出しの整理・整頓を行い、自他の実践方法を比較し、よりよい実践方法について検討する活動を通して、整理・整頓の仕方を説明することができるようにする。

**準備** 学習者用端末、整理・整頓する物(引き出し・教科書・ノート類・プリント等・文房具類)

過程

段階	学習活動と予想される反応	具体的な支援 ※ICT活用
導入	<p>1 整理・整頓に関して学習したことと、家庭で整理・整頓したい場所を比較し、本時のめあてについて話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>【整理・整頓のよさ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○安全→物にかからない。 物が落ちてこない。</li> <li>○快適→すぐに取り出せる。 気持ちがよい。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>【整理・整頓されていない引き出し】</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>○物が出ている。</li> <li>○どこに何があるのかわからない。</li> <li>○分けられていない。</li> </ul> </div> </div> <p>・整理・整頓されていない引き出しでは、次の授業の準備がすぐできないことがあり、困ることが多くある。</p> <p>・どのように整理・整頓をするとよいのだろう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>よりよい整理・整頓の仕方について調べよう。</p> </div>	<p>○どのように整理・整頓をするとよいのかという疑問をもつことができるように、<u>整理・整頓がされていない引き出しの写真</u>を提示し、引き出しの状態をどう思うのか交流する時間を設定する。</p>
展開	<p>2 引き出しの整理・整頓を行い、整理・整頓とは何をどうすることなのか話し合う。</p> <p>(1) 整理・整頓を行う際の視点と方法を確認し、課題を解決する見通しをもつ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>【視点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○快適→すぐに取り出せる。</li> <li>○安全→危険がない。</li> <li>○環境→物の無駄遣いがない。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>【方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○班ごとに整理・整頓する。</li> <li>○班で行ったことを交流し、共通点を見付ける。</li> </ul> </div> </div> <p>整理・整頓する前よりよくなっていないといけないから、<u>快適の視点や安全の視点を大切にして整理・整頓を行おう。</u></p> <p>(2) 実際に整理・整頓を行い、それぞれの班の整理・整頓の共通点について話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p><b>【A 班の整理・整頓】</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>○必要な物だけ残す。</li> <li>○いらぬ物を捨てる、他の場所に持っていく。</li> <li>○教科書やノートを大きさでまとめる。</li> <li>○本は左に置く。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p><b>【B 班の整理・整頓】</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>○いらぬ物を捨てたり、ランドセルに入れたりする。</li> <li>○教科毎にまとめる。</li> <li>○よく使う物を手前に置き、あまり使わない物を奥に置く。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p><b>【C 班の整理・整頓】</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>○必要でないプリントを捨てる。</li> <li>○その日に使う教科書やノートを右側に並べる。</li> <li>○小物はまとめて左側に置く。</li> </ul> </div> </div> <p>・どの班も、いらぬごみを捨てたり、その日に使わない教科書等を他の場所に持っていったりして、よく使う物だけ残しているよ。</p> <p>・使いやすくするために、よく使う物を、同じ種類でまとめたり、手前に置いたり、仕切ったりして見た目も分かりやすくしているね。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>整理・整頓は、よく使う物を残し、同じ種類の物でまとめたり、よく使う物を手前に置いたり、仕切りで区切ったりして見た目にも分かりやすくするとよい。</p> </div>	<p>○整理・整頓をする際に大切にしたい視点に気付くことができるように、<u>前時の整理・整頓のよさについて調べた板書</u>を提示する。</p> <p>○整理・整頓の方法に気付くことができるように、整理・整頓することができる引き出しを準備し、必要な物を判断することができる<u>モデルの時間割</u>を提示する。</p> <p>○整理・整頓の行い方に気付くことができるように、<u>それぞれの班が行ったことを全体で交流</u>させ、「どの班にも共通することは何か」と発問する。</p>
終末	<p>3 本時学習を振り返り、生活の中での実践について考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>【本時学習場面】</b></p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>【生活の中での実践場面】</b></p>  </div> </div> <p>・普段の学校生活で、引き出し以外の場所も整理・整頓したい。</p> <p>・家でも整理・整頓できそうな場所があるからしてみたい。</p>	<p>○家庭での実践について具体的に想像することができるように、<u>片付けが必要な場所の写真</u>を提示する。</p>